

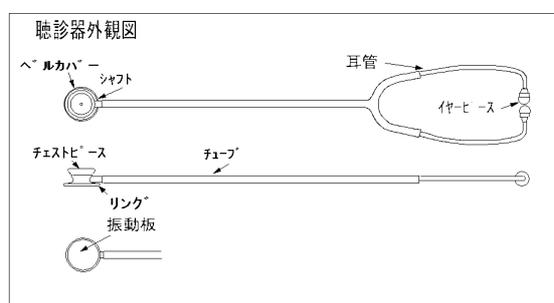
フレアフォネット No.137P KENZMEDICO

【禁忌・禁止】

- 絶対に分解、改造しないで下さい。
[故障等の原因になります。]
- イヤピースが耳管に装着されていない場合は、使用しないで下さい。
[耳管のネジ部など金属部分で耳装着部を傷つける場合があります。]

【形状・構造及び原理等】

本品は、チェストピース、チューブ、シャフト、リング、振動板耳管、イヤピースからなる。



振動板から聴取された音は、本体中心部に位置する音道を通りシャフト、チューブ、耳管、イヤピースを通り両耳に送られます。

【使用目的、効能又は効果】

使用目的: 体内音を聴き取る。

(注意) 正確な聴診をするためには、静かな場所で行って下さい。

* 【品目仕様等】

(寸法及び材質)

全長	約71cm
重量	130g
チェストピース	ステンレスφ40mm
ベルカバー	ネオプレンゴム
振動板	ガラスエポキシ
耳管	ステンレス
チューブ	ポリ塩化ビニール
イヤピース	シリコンゴム
リング	ポリアセタール

【操作方法又は、使用方法等】

1. 耳孔に合ったイヤピースを選びます。
2. イヤピースの穴に耳孔を合わせ聴診器の振動板面又はベル面を聴きたい面に合わせ静かに聴診する。
3. イヤピースの脱着方法

●取り外し



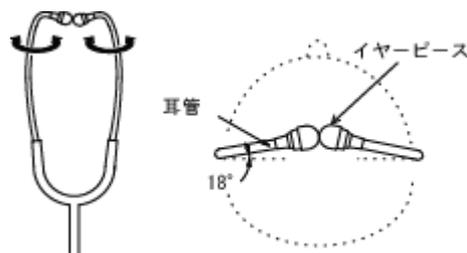
●取り付ける



4. 耳管の取扱い

適正角度

耳管は下左図のように回すことができます。
イヤピースの穴を耳肌で塞がないように耳孔の方向に合うように調節してください。



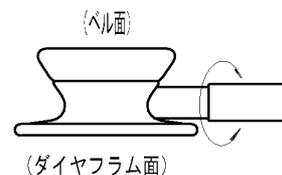
耳管の外し方

耳管は、両側同時に広げて外して下さい。



5. ダイヤフラム面とベル面の切替方法

シャフトを回転させて切替えます。クリックを感じるまで回して下さい。



6. リングの取り外し方

リングを外すときは、シャフトに力を加えないで下さい。
リングの端から外して下さい。



7. リングの取り付け方

リングを取り付けるときは、ダイヤフラムの端の部分を軽く押さえて取り付けして下さい。

【使用上の注意】

- 本品は聴診以外の目的で使用しないで下さい。
- チェストピース（振動板面）を叩かないで下さい。
[振動板を傷めたり又、耳管を装着している場合は耳に傷害を来す可能性があります。]
- 本品は聴診専用ですので、大きな音は絶対に聴かないで下さい。[耳に傷害を来す可能性があります。]
- 本品を振り回さないで下さい。[物的損傷及び人に傷害を加えたりする可能性があります。]
- 本品に衝撃を与えるような取扱いは避けてください。

(各パーツの確認)

- 性能を十分活用するためにリング、イヤピースの取り付けが緩んでいないか確認して下さい。
緩んでいる場合は確実に装着して下さい。
- 振動板、リング、イヤピースに傷がある場合は使用しないで下さい。[皮膚を傷つける可能性があります。]
- 耳管、チューブ、チェストピースの音道の中に異物が入らないよう留意して下さい。[機器の故障・破損の原因になります。]

(耳管)

- 万一耳管バネが折れた場合、聴診上に不都合が生じたり人体に傷害を加える可能性がありますので使用しないで下さい。
- 耳管を無理に広げたり、握りつぶしたりしないで下さい。
[耳管バネ破損の原因となります。]

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 保管温度
-20～60℃
2. 保管湿度
RH85%以下
3. 保管状態
 - 急激な温度変化のある所、極端に高温や低温になる所、湿度の高い所、直射日光の当たる所、ほこりの多い所、化学薬品の保管場所やガスの発生する所は避けてください。

【保守・点検に係る事項】

- 本器に衝撃を与えるような取扱いは避けて下さい。
- 本器が汚れた時は、柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤をつけた布で汚れを落とした後、からぶきして下さい。
- 各パーツの取り付けに緩みがないか確認して下さい。
- 各パーツに著しい傷、破損がないか確認して下さい。
- 音道内に異物が混入していないか確認して下さい。
- 故障したときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

【包装】

1台/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

(製造販売業者及び製造業者)

ケンツメディコ株式会社

〒367-0206

埼玉県本庄市児玉町共栄 552 番地 1

TEL 0495-71-1001 FAX 0495-72-6716

URL <http://www.kenzmedico.co.jp>